

ご質問と回答

質問 1 3 (平成 1 5 年 9 月 受付)

(栃尾市在住)

任意合併協議会に参加している市町村の衆議院議員の選挙区は 3 つに分かれています。長岡市は南北魚沼郡と同一選挙区ですが、合併後は区割りの変更などもあるのでしょうか。選挙区は国が定めるものですし、正式に合併が決定していないので、県内外他地区の例など分かる範囲で教えて頂きたいと思います。

回答

衆議院議員の小選挙区については、公職選挙法の別表第 1 に定められています。

この改定は、10 年ごとの国勢調査の結果をもとに衆議院議員選挙区画定審議会が勧告し、これを受けて法律改正により行われます。

最近では、平成 12 年の国勢調査の結果に基づき、平成 14 年 7 月の法律改正で小選挙区の改定が行われています。県内では、平成 13 年 1 月 1 日に新潟市に合併した旧黒埼町の選挙区が 2 区から 1 区に改定されています。

なお、審議会は、各選挙区の人口の著しい不均衡その他特別の事情が生じたときは勧告を行うことができることになっています。また、国会では、平成 14 年の改正法案成立の際に、市町村合併の進展などにより小選挙区の区域が地域の実情とそぐわないような状況となったときは、10 年ごとに行われる国勢調査の結果を待つことなく、小選挙区の改定の勧告を行うよう考慮することが附帯決議されています。

質問 1 2 (平成 1 5 年 9 月 受付)

(小千谷市出身埼玉県在住)

消防関係は小千谷・川口・山古志の 3 市町村で一体になって行っており、小千谷の東山(市東部)へは山古志村竹沢の分署から、消防車も救急車も出動しています。現在も緊急時は管轄の枠を超えての出動はあると思いますが、山古志村が長岡市となった時、従来通りの体制が取れるか不安です。

回答

現在まで協議を詰めていない状況で推測(予定)になりますが、山古志村が長岡市と合併した場合、原則では管轄区域外となり緊急通報が入らないため、東山地区へは出動できなくなります。ただし、応援協定や事前協議の中で要請により消防署や消防団の出動は可能となります。消防体制等は長い歴史や地域間の結びつきが強いこともあり、今後も実情にあった対応を考えていきます。

質問 1 1 (平成 1 5 年 9 月 受付)

(栃尾市在住)

現在の長岡市は空洞化している中心市街地の活性化に積極的に取り組んでいますが、

編入合併される市の市街地の活性化については、どのようにお考えでしょうか。栃尾に限らず見附、参加すれば小千谷なども該当すると思います。中心市街地の活性化も必要ですが、合併を控えているのであれば周辺部の市街地活性化に積極的に取り組むべきだと思います。

回答

長岡地域任意合併協議会では、各地域の人々の想いや希望を原点に、各地域が有する資源の強みを活かしたまちづくりを目指し、「新市将来構想」を作成しました。

そして今後、各市町村の判断を経て次の段階である法定合併協議会へ移行する予定です。

法定合併協議会では、周辺部の市街地活性化も含め、より具体的な施策を検討し、「新市建設計画」を策定することになります。

皆さんの希望や夢をいかに具体化したらよいのか、今後も協議は続きますので、市町村合併についてご理解くださいますようお願いいたします。

質問10（平成15年9月受付）

（中之島町在住）

合併のメリットとして「人件費などの経費の節減」が上げられていますが疑問があります。具体的に数字を示して知りたいのでご教示下さい。旧市町村の職員の身分は全て新市に引き継ぐとされているということは、合併時点では誰も解雇されないということと理解します。新規採用人数と定年退職人数の差（自然減）で節減できる人件費と、新市の職員の給与ベース統一による増（給与&退職手当）の具体例がどこに記載されているのかご教示願います。

回答

財政試算における職員人件費削減の考え方について説明します。

新市の職員数については、合併後の人口規模で現在存在している同規模の都市と比較すると375人上回ることとなります。そこで、退職者の一部不補充や新規採用の抑制、業務の委託化、臨時職員の活用等で、職員を削減することにしています。これにより、年間で25億円程度削減できる見込みです。（長岡地域市町村合併研究会報告書(4.3M)の39ページをご覧ください。） [クリック](#)

また、新市職員間の給与ベースの調整については現在検討中ですが、基本的には、できるだけ財政負担にならないようにしたいと考えております。

なお、回答が今まで遅れて申し訳ありませんでしたが、それは、第8回協議会で公表いたしました財政試算が中間報告であり、まだ作業途中であったことから、最終報告を待って回答するのが妥当と考えたためです。ご理解ください。

質問9（平成15年8月受付）

（長岡市在住）

合併のメリット・デメリットをわかりやすく教えて。

回答

- 長岡地域市町村合併研究会報告書(4.3M) クリック
 「合併のメリット」P39～
 「合併することの不安、懸念への対応」P45～
- 協議会だより第3号(371KB) クリック
 「信濃君のちょっと質問！」

をごらんください。

長岡地域市町村合併研究会報告書や協議会だよりでは合併のメリット・デメリットのほかにも合併に関する情報をわかりやすくお知らせしていますので是非ごらんください。

質問8（平成15年8月受付）

（山古志村在住）

8市町村が合併した際、他県で例があるような8市町村とは違う市の名前を付けるということはしないのですか。

回答

任意合併協議会での協議の結果、「新市の名称」は全国的に知名度がある等の理由で「長岡市」に決定されました。

質問7（平成15年7月受付）

（長岡市在住）

合併に伴い住所が変更になる可能性が出てきます。現在企業などではコンピュータ（パソコン）を利用して顧客台帳の管理を行っています。当然それらのデータを変換する必要が出てきます。合併に伴う企業のコンピュータソフトウェアの変更やデータ変換にかかる費用や手間について特別な軽減措置や技術的な支援や変換データ一覧表データの提供などのサービスは行われるのでしょうか。

個人の場合は役所に届出をしている住所が変更になるわけですが、この手続きは自動的に行われるのでしょうか。

回答

合併に伴い、住所の表記変更が行われた場合に、企業・商店、個人等が住所のデータを最新のものに変換するための費用補助や技術的な支援をするかについては、合併がまだ決定していないこともあり現在検討しておりません。

合併に伴い、住所の表記変更が行われた場合に、役所・役場に届けてあります住所は、合併時において、原則として個人が変更手続きを行う必要はありません。

特に手続きが必要になる場合は市役所・町村役場からお知らせいたします。